


Kagawa Education Institute of Nutrition
Kagawa Nutrition University

栄養学教育におけるアクティブ・ラーニング
研究対話集会



地域の健康課題を抽出して
栄養学的に対応を考える
グループ型授業

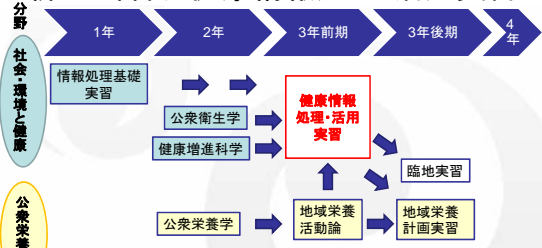
2014年12月6日

香川雅春
女子栄養大学 栄養科学研究所

栄養士・管理栄養士に求められる能力

- 栄養に関する知識と確かな調理技術
- コミュニケーションスキル
 - 臨床・指導
 - 教育・ヘルスプロモーション
- 公衆衛生学としての栄養学
 - 国内外の知見
 - 多くの組織・自治体からの公式情報
- 膨大な情報を整理・分析できる知識が求められている

新しい科目：健康情報処理・活用実習



分野：社会・環境と健康、公衆栄養学

- 管理栄養士国家試験受験資格・教職(栄養教諭)必修科目：(1単位)
- 3年前期に開講：基礎を踏まえて後期の臨地実習、地域栄養計画実習等に繋げる

科目の達成目標

- 地域の健康課題の診断に必要な情報収集および活用スキルの習得
 - 統計の基礎・エクセルによるグラフ作成
 - ビッグデータの処理方法
 - 文献検索
 - プレゼンスキル
- 各班で設定した対象地域の健康課題を存在する統計資料や疫学指標を用いて診断⇒アセスメント結果をプレゼンテーション資料として作成して発表

シラバスの内容

- 全12回
- 統計情報の収集方法
- 統計の基礎(記述統計・全数調査・標本の抽出方法 etc)
- 疫学の基本指標
- 健康情報の収集と分析
- 科学的根拠となる情報収集方法
- 学術論文の読み方ー批判的思考
- プレゼンテーションスキル


クラスの規模と指導体制

- 学生数232名
⇒ABクラス(123名)とCDクラス(109名)として開講
- 初回時にクラスを6人ずつ班分けを行った
 - AB21班、CD18班
- 担当教員4名＋実験実習助手2名



IG Kagawa Nutrition University

教室の間はスカイプを活用



- 各PC教室の間の壁は開閉不可
- 担当教員の顔をSkypeで配信
- 担当教員と実験実習助手を各部屋に配置

https://f5.gqgh1.com/1CvNUEdrREhWZoaHUIS63zCgQvTb7R-ZibJd51uPBf0U8AX2MCHKIGBcuAqH+u=300

IG Kagawa Nutrition University

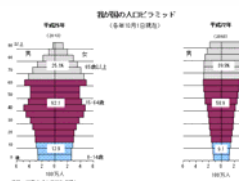
統計の基礎

- 回答の取り方
- サンプル(標本)の抽出方法
- ランダムサンプリングの方法
- 乱数の発生方法
(<http://www.calc-site.com/randoms/integral/>)
- 実際のデータファイル(.xls)を使いながら統計の基礎情報の実習

IG Kagawa Nutrition University

健康情報の収集・疫学の指標

- 既存の統計データの収集方法
 - 厚労省(人口動態統計)・総務省(国勢調査)
 - ハイパーリンク集
- グラフの作成手法(複合グラフ・人口ピラミッド)
- 県別の三大死因の死亡率・調整済死亡率など
- 罹患率・有病率・オッズ比
- 疫学研究の方法(縦断研究・コホート研究)



<http://www.stat.go.jp/data/psi/3-3.htm><http://www.stat.go.jp/data/psi/3-3.htm>

紹介した文献検索サイトの例



- 大学図書館 (<http://www.eiyo.ac.jp/library/>)
 - CiNii
 - 医中誌Web
 - PubMed
- Google Scholar (http://scholar.google.co.jp/schhp?hl=ja&as_sdt=0)
- J-STAGE (<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja>)

IG Kagawa Nutrition University

発表会

- 立場:
 - 対象地域(都道府県)健康増進課の管理栄養士との設定
 - 新しい健康増進計画を策定するに当たり、地域の健康課題を分析して会議で発表
- 発表内容:
 - 対象地域(東日本)は全国や対象地域(西日本)と比較してどのような健康課題があると考えているか
 - 人口構造とその変化、平均寿命と健康寿命、死亡状況とリスクファクターなど
- 発表時間:7分+ディスカッション5分

評価基準

1. 対象地域(東日本)の人口構造やその変化の特徴に対する判りやすい説明
2. 対象地域(東日本)の平均寿命と健康寿命の特徴に対する判りやすい説明
3. 対象地域(東日本)の死亡の状況(主な死因)とそれに関連するリスクファクターの状況、並びに優先順位の高い健康課題についての判りやすい説明
4. 健康課題と栄養・食生活要因に関する文献紹介
5. プレゼンテーションの適切性(話し方、時間厳守 etc)
6. ディスカッション時の対応(質問に対する回答内容など)の適切性

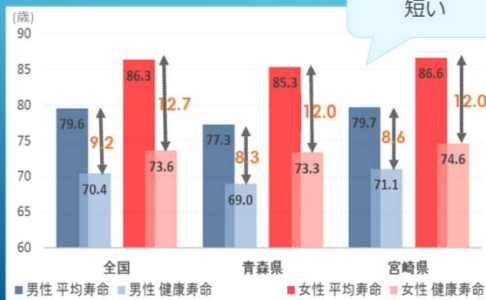
発表風景



平均寿命と健康寿命

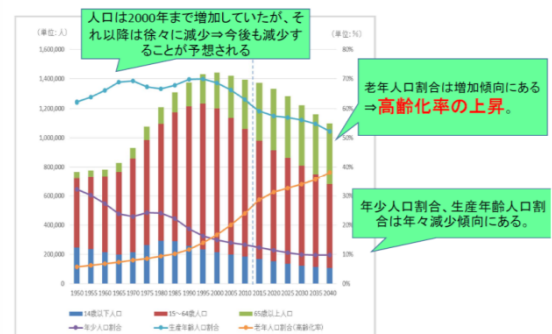
『平成22年都道府県別生命表』総務省統計局

平均寿命が短い



奈良県の人口推移

奈良県公式HP:平成26年度推計人口調査



今後の課題

1. Skypeを使っでの講義体制
⇒もう片方の教室での学生の集中力低下
2. 座学とデータファイルを使う演習の区別
⇒授業の進め方(利用する教室)の見直し
3. エクセル操作の個人差への対応
⇒クラス分けを含む対応の必要性

ご清聴どうもありがとうございました